

法人（事業所）理念	1. 利用者の人権を尊重し、地域に開かれた利用者中心の施設づくりを目指します。 2. 利用者の個々の希望や個性を伸ばす支援やサービスを提供します。 3. 新たな福祉ニーズに先駆的に対応し、地域福祉の拠点としての役割を担います		
支援方針	1. 生き生きと自己表現し、気持ちの交流ができる豊かな心の育ちを支えます。 2. 様々な専門職のスタッフが一人一人の発達に合わせ遊びを通じて関わり、日常生活に必要な動作・知識技能を獲得し集団生活に適応できるよう必要に応じて支援を行います。 3. 地域の保育所・幼稚園・他事業所と連携し、集団生活への適応のための専門的な支援を行います。		
営業時間	9 時 00 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	心身の健康状態を確認しながら、生活リズムの形成、基本的な生活スキルの獲得を目指します。 ・時間や空間の構造化を行いながら理解しやすい中で集団生活のルールを明確に伝えていきます。 ・安全で衛生的な環境を整えていくとともに、生活リズムの安定や信頼関係の構築を図り、環境の変化への自分なりの馴染み方を学んでいきます。 ・自分達で衣服の調整や身だしなみを整えていく方法を学んでいき、居心地よく過ごせる術を学んでいきます。 ・時間や空間の構造化を行いながら、集団生活のルールを分かりやすく明確に伝えていき、善悪の区別や社会のルールを学んでいきます。 ・医療的なケアが必要なお子さまには医師からの指示書のもと、看護師を中心とした適切なケアを行っていきます。 ・それぞれの意思表示を理解するため、小さなサインにも気付いていけるように日々の観察や関わりを大切にしていきます。	
	運動・感覚	・作業療法士による評価のもとに姿勢と運動・動作の向上が図れる活動を提供していきます。必要に応じて作業療法士による個別療育を行います。 ・身体機能の状態に合わせ、安全を確保しながら活動をする中で、本人の興味・意欲の拡大にも働きかけ、移動能力の向上等も目指します。また、補助手段の活用も検討し自立した生活を目指していきます。 ・感覚の特性に配慮した環境設定の支援や、スモールステップで許容範囲を広げ、生活の広がりを目指します。 ・医師の指示や作業療法士の評価のもとに筋肉の硬直や側弯を予防し、安楽な姿勢が保てるようにしていきます。 ・日々関わる看護師や支援者により、お子さまの体調に合わせて活動を調整していきます。	
	認知・行動	物事の原因と結果を分かりやすく伝えていき、物事の事象を習得しやすくなるよう働きかけていきます。 ・遊びや生活の中で物・数、色などの身近な生活概念の形成ができるよう、繰り返し働きかけていきます。それを認知・行動の手がかりとしながら、見通しを持って安心して様々なことに挑戦できる経験を積んでいきます。 ・物や空間、時間等の概念の形成を図り、認知や行動の手がかりとして活動できるよう支援します。	
	言語コミュニケーション	・ことばや指さしだけではなく、ジェスチャーや絵カード、マカトンサインなどの視覚的ツールを用いて共通認識の事柄を増やしていきます。また、本人の要求や気持ちに丁寧にことばやジェスチャーを添えていくことで、ことばとの一致を図ります。 ・伝える、伝わる経験を増やし他者とのかかわりを楽しめるように働きかけます。 ・他者と気持ちの共有を図ったり、目に見えない気持ちや過去の出来事を言葉で伝える練習をしていきます。 ・表情や四肢の動き、心拍など、非言語での表現を尊重しながら、気持ちに寄り添った支援を行います。 ・必要に応じて言語聴覚士による個別療育を行い、コミュニケーションに必要な力を育てます。	
	人間関係社会性	・日々の生活のやりとりの中で愛着形成・信頼関係を作っていきます。 ・遊びや物のやり取り等を通して他者と関わる機会を意図的に設け、人への興味が高まるよう働きかけていきます。 ・必要に応じて、支援者を介しながら他児と関わる活動に参加し、その場や気持ちの共有を図ったり一緒に過ごす楽しさが感じられるよう環境を整えていきます。 ・対人面でのやり取りを楽しみ、支援者が仲介に入りながら他者との距離感ややり取りの仕方をモデル提示していきながら習得しやすくなるよう働きかけていきます。 ・集団で過ごす中でルール等を理解できるように働きかけ、仲間づくりを促し社会性を身につけられるよう働きかけていきます。 ・どんな時にどんな気持ちになってしまうのか、自分の傾向を知り、他者との折り合いのつけ方や自己コントロールの仕方を一緒に学んでいきます。 ・係や当番活動を通して、社会的役割を担う練習をしていくことで、責任感や協調性を深められるようにしていきます。	
家族支援	・個々の家庭状況に合わせ、必要な時には個別相談も受けたいけるよう準備し、ライフステージにあった支援や今後の見通しを共有していきます。 ・ペアレントトレーニングやペアレントプログラムなど各種勉強会も実施していきます。 ・保護者やきょうだいの方が参加できる機会を作り、家族同士のつながりを支援していきます。	移行支援	・入園や就学に向け、課題となることを練習していったり、配慮についてご家族や園職員に伝えられるようにしていきます。 ・インクルージョンが円滑に進むように、開かれた施設作りをするとともに、地域の施設との連携を図りながら社会での理解や受容にも並行して働きかけていきます。
地域支援・地域連携	・保育園、幼稚園、他事業所など併用している子に対しては、他の施設との連携を図り、統一した関わり方の周知を行います。 ・発達の遅れを早期に見出し支援につなげられるよう、地域の中核的な存在として行政や医療機関との連携も進められるようにしていきます。	職員の質の向上	・施設内での勉強会、研修を行い、共通理解の中で支援を進められるようにしていきます。 ・外部での各種研修や勉強会にも参加し専門性を高めサポートできるようにしていきます。
主な行事等	お正月・節分・ひなまつり・いちご狩り・子どもの日・母の日・父の日・七夕・夏祭り・プール遊び・敬老の日・ハロウィン・クリスマス会・野外訓練（公園、季節に応じたレク活動など）・野菜作り・お楽しみ会・誕生会・避難訓練・家族交流会・内科健診など		